

2020年度 西洋史学専修課程 資料

西洋史学専修課程紹介

- ▶ 西洋史学専修課程とは？…西洋世界の古代から近現代の歴史について学ぶ
 - ◇ 古代アテネの民主政について
 - ◇ 中世シチリア王国の財務・行政機構について
 - ◇ ヴィクトリア朝期イギリスの社会制度改革について etc.

- ▶ 具体的にはどんな勉強をしているのだろう？
 - ◇ ゼミが中心 ⇒ 高山・橋場・勝田・池田・長井・芦部各教員の6つのゼミ
 - ゼミは講義と違って「学生主体」の双方向型授業！研究に必要な基礎技能を習得します。
 - 各教員の専門分野に合わせ、様々な教材を用いて勉強していきます。
 - 外国語文献輪読、邦語文献を利用した討論 etc.
 - ◇ それに加えて様々な特殊講義。先生方が研究している専門的なテーマを扱います。
⇒ 西洋史のほか、日本史・東洋史も一部必修
 - ◇ 柔軟なカリキュラム
 - 卒業認定単位のうち、半分は自由に履修できる単位（後期教養や教職課程のものも含まれます！）
 - 他学部の履修に関して一切制限なし！
- ⇒ 歴史学に留まらない、幅広い「教養人」としての知の涵養ができます
- ◇ 卒業論文 ⇒ 西洋史学専修課程の集大成
 - 20000～40000字が目安、註釈は本文の4～6割、欧語文献利用必須。
 - 文献の探し方、註釈の付け方など、必要な技術は2年間を通じて学んでいくので大丈夫！
 - もちろん卒論指導も充実しているので安心！
 - ✓ 複数回行われる卒論ガイダンス（3年生5月、4年生5月、10～11月）や教員との面談
 - ✓ 大学院生のTAによる「サブゼミ」（4年生6月以降、複数回）
- （進捗状況を発表し、卒論の形式やテーマ設定などアドバイスをもらえる場です。）

▶ 教員紹介

高山博	教授	中世史（統治システム、国家比較、地中海、シチリア、異文化交流、グローバル化）
橋場弦	教授	古代ギリシア史（民主政制度、公共圏・民主政コードの成立）
勝田俊輔	教授	近代ブリテン・アイルランド史（イギリス帝国、農民運動、都市ダブリン）
池田嘉郎	准教授	現代ロシア史（第一次大戦、政治：革命～スターリニズム、帝国とナショナリズム）
長井伸仁	准教授	近代フランス史（フランス革命～第三共和政、フランスにおけるカトリシズム）
芦部彰	講師	現代ドイツ史（西ドイツ、社会政策、キリスト教民主同盟とカトリシズム）
内田康太	助教	古代ローマ史（共和政期政治史・法制史、立法・公職選挙）

- ▶ 卒業後の進路はどうなっているの？
 - ◇ 民間企業への就職（業種も金融・インフラ・メーカー・卸売・サービス・教育など多種多様）
 - ◇ 大学院進学（西洋史の院が主だが、他にロースクールや教養の院なども）や公務員試験の受験
 - ◇ カリキュラムが柔軟なため、教員免許や学芸員資格のための単位取得も比較的容易ですし、中長期の留学をする人もいます。

▶ 西洋史学研究室ではどんなイベントがあるの？

- ◇ 4月：進学者歓迎会
- ◇ 5月：研究室旅行
- ◇ 10月：内定者歓迎会
- ◇ 3月：卒業パーティ

などなど

西洋史学専修課程進学を志すにあたって

- ▶ 西洋史学専修課程で重要な技量とは？
 - ◇ 英語をはじめとする欧語の語学力！これに尽きる（手を抜かずに勉強しておこう）
 - どこで使う？

- ✓ ゼミでの文献輪読
- ✓ 卒業論文の執筆（欧語文献を参照して書きます！）
- ✓ 院試の問題（英語＋もう一ヶ国語）

- 英語はもちろん、やってみたい地域の言語も必要です。
- （辞書を引きながらでも）読み書きができればOK！
- 語学は本郷でも授業があるので、新たに学び始めることも、再び学び直すことも可能。

◇ あとは学ぶ意志さえあれば誰にでも門戸を開いています！

➤ 今のうちに何か勉強しておくべき？

◇ 歴史系の講義

- 歴史社会論、近現代史 etc.
- ただし進学のために優先的にとらなくてはいけないわけではありません。
- あまり細かく時代・地域を絞らずに、幅広く履修するとよいでしょう。

→ 多くの時代・地域に触れておくことは、研究テーマを決める上で非常に役立ちます。

◇ 語学（再登場）

- ゼミ、卒論、院試などと何かにつけてお世話になります。
- 初修外国語の他に、三外でも色々と手を伸ばしてみるといいでしょう。
- 特に古代史・中世史をやりたい人はラテン語・古典ギリシア語に早めに慣れておくと楽！

◇ 導入として、『世界歴史大系』『○○史研究入門』（ともに山川出版社）といった概説書を読んでもいいでしょう。

URL <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/seiyoshi/>